

内田弦大後援会設立趣意書

プロトライアスリート内田弦大選手は1997年高島市生まれ。市立高島小学校、市立高島中学校を卒業した生粋の「高島っ子」です。幼少期から中学校卒業までの9年間は水泳、県立高島高校時代は陸上の全国大会に出場し、数多くの記録を残しました。

関西大学社会安全学部に進学してトライアスロン競技と出逢い、わずか1年で日本学生トライアスロン選手権優勝、日本スプリントトライアスロン選手権優勝という快挙を成し遂げました。大会出場を重ねるたび、目覚ましい成長を遂げ、同年U19世界トライアスロン選手権大会に出場し、日本トライアスロン界の新星として注目を集めました。

翌年の日本学生トライアスロン選手権で連覇を果たし、国内外のレースで経験を重ね、瞬く間に日本ランキング3位(2022年)に昇りつめ、日本代表・オリンピック強化選手に選ばれるまでに成長しました。パリ五輪出場権がつかめるところまでやってきました。さらに、本年10月に出場した、鹿児島特別国体でも滋賀県勢悲願の1位を予想通り勝ち取ってくれました。迎える2025年開催される国民スポーツ滋賀大会トライアスロン競技の優勝や、パリオリンピックでの内田弦大選手の活躍に期待が集まっています。

このような状況の中、地元高島では、「内田弦大選手は、今や高島市が生んだ財産であり、誇れる存在だ。我らが内田弦大君の更なる活躍を願って、地元からエールを送りたい」という声がそここで聞かれるようになりました。

更に、内田弦大選手本人、ご家族、関係者の方々も、この地元からの温かい声援に感謝し、「生まれ育った高島の活性化の一助となりたい」という強いご意向をお持ちです。

そこで、発起人一同は、「後援会を組織し、高島が生んだプロトライアスリート内田弦大選手を高島市民を挙げて応援したい。また、内田弦大選手とともに青少年の育成や社会福祉の増進に向けた諸活動に取り組み、地域の活性化を図りたい」と考え、内田弦大後援会の設立を発意した次第です。

以上の設立趣旨にご賛同のうえ、多数の方々のご入会をお願い申し上げます。

2023年11月吉日
発起人